

## 師走(December)の校長 令和2年度第2学期 終業式 (R2.12.25)

新型コロナウイルス感染症に振り回された令和2年も、残すところ、後1週間となりました。この2学期は、やむを得ず中止にした行事や、体育祭や翔陽祭のように規模縮小・入場制限で行った行事もありましたが、生徒諸君、教職員、保護者や地域の方々のご理解、ご協力のおかげで、思い出に残る素晴らしい形で無事に実施することができました。

改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、今回も放送で行った令和2年度第2学期終業式では、「本校の校訓」について話しました。本校益田翔陽高校の校訓は、『創造、敬愛、誠実』の3つであり、

「創造性を発揮し、敬愛の心を持ち、誠実に生きる生徒を目指す」であります。

1つ目の『創造』とは、新しいものを産み出すこと。創作や発明、あるいは新しい考え方や、オリジナリティの強いものに対し使うことが多い言葉です。

今月12日、本校の体育館で実施したロボット競技県大会でも述べましたが、

先日、小惑星探索機はやぶさ2が、小惑星リュウグウの砂を持って、ほぼ完璧な状態で、地球に帰還しました。6年間に渡る52億kmの旅であり、本体はさらに新たな旅を続けています。初代はやぶさの小惑星イトカワへの旅に続いて、太陽系の成り立ちや生命の起源に迫ることのできる快挙であるとともに、日本の技術力の高さを、全世界にアピールした素晴らしい成果でした。

『ものづくり』に携わり、日々研鑽を積んでいる生徒達には、その『ものづくり』を通しての夢、ロマン、そして大きな可能性があります。生徒それぞれが、各科において、機械、電気、野菜、果樹、草花、土木建設、食品加工、服飾等々、基礎をきちんと学び、『ものづくり』に携わりながら、日々、立派に『創造』しています。今後とも、その基礎となる座学・実習などの授業を大切にして、積極的に『ものづくり』、そして『創造』することに取り組んでもらいたいと話しました。

2つ目の校訓は『敬愛』とは一般に、「尊敬し、親しみの心を持つこと」です。

今月初めに、全学年一斉に、同じテーマで人権・同和教育のLHRを行いました。

「自己と他者の違いを理解し、良好な関係を築くための宣言」を各自がワークシートに書くなど、「いじり」「いじめ」「SNSの使い方」などについて、色々と考える時間でした。

県内で唯一の複合型専門高校である本校には、様々な将来の夢を持った生徒が集まっています。

○同じ学び舎で、お互いがお互いの夢を尊重し、応援してあげられる人になってください。

○常に相手の立場や気持ちを思いやって行動できる人になってください。

○この校訓の『敬愛』を忘れずに行動できる人は、自然と周囲からの信頼・信望も厚くなると話しました。

3つ目の校訓は『誠実』です。日々、誠実に過ごすために心がけるべきことは、やはり『凡事徹底』と『下学上達』を意識しての『日々改善』だと私は思います。今一度『凡事徹底』『日々改善』を意識して、新年となる令和3年を迎えてもらいたいと話しました。

最後に、新型コロナウイルス感染症対策について、自分の命を守るだけでなく、大切な家族や周囲の人々の命を守るためにも、今まで以上に責任ある行動を心がけるように注意喚起しました。翔陽生諸君！ 安心安全で有意義な冬休みを過ごしてください！！